

# 市民対話集会「ふれあいトーク」報告書

主 催：あすをつくる倉吉女性塾  
と き：平成 26 年 11 月 26 日（水）13：30～  
と ころ：上灘公民館  
テーマ：「男女共同参画で倉吉の活性化を」

## <主な意見について（抜粋）>

### 【倉吉市男女共同参画推進条例について】

◇倉吉市男女共同参画推進条例が制定され 10 年経つ。改正する時期になっているのではないか。

- 10 年というひとつの節目である。まずは見直す点があるか点検することが必要。倉吉市男女共同参画推進市民会議のみなさんからも意見をいただきながら点検をしていく。

### 【男女共同参画について】

◇部落解放倉吉市集会分科会に必ず「男女共同参画」をテーマにした分科会がある。他の市町村ではなかなかないこと。市民と行政が協働で啓発している事業が多いのでこれからも連携を図り続けていきたいと思う。

◇会合などにあまり参加しない（できない）女性が、会合に出席することになっても、経験が少ないので発言しにくい。もっと複数の女性が参加できる機会があればよいと思う。

◇自治公民館長をしているが、女性になると決まったとき「女だに、できるか？」と言われてきた。女性だからできること、女性の視点だからわかることをやってきた。任期が終わろうとするが、周りの反応も変わってきたように思う。

- 男性が多い自治公民館の役をすることはとてもプレッシャーであると思う。まだまだ地域は男社会であると感じる。女性が複数で役員になると、意見が出しやすくなるのではないかと思う。女性が参画しやすい環境を男性が整え、サポートをしていくことが必要であると思う。みなさんも気負わず積極的に参画してほしい。
- 男性の見る目を変えないといけないし、男性教育が必要。自治連合会にも女性の登用をお願いしている。

### 【市政全般について】

◇市役所に地域のことで改善してほしいことを言いに行っても「それは地域でやって」と言われることが多い。改善してほしいことがあっても、また文句を言っていると思われそうで行くことができない。

◇土曜授業で子どもたちがふるさとを知る学習をしている。小さい時から地域のことを学ばせることは、次の世代にもつながっていきとても良いことだと思う。

- 地域のことについて（水銀灯が切れているとか、草が伸び放題になっていてなんとかしてほしいとか）、地域でお願いすることもあるし、行政がしなくてはいけないところもあるし相談しながら対応していきたい。一層の職員の丁寧な対応について指導をしていく。
- 土曜事業は倉吉風土記を活用してふるさとを知ることや、地域では地区公民館で作成されている「○○誌」を活用し地域マイスターでの地域を説明する等のこともできる。

等々